

令和6年度

羽幌町教育委員会
事務点検・評価報告書

(令和5年度事業対象)

令和6年8月

も く じ

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の流れ	
	(4) 学識経験者の知見の活用	
2	教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	(1) 教育委員会議の開催及び審議状況	
	(2) 教育委員会議以外の活動状況	
3	事務点検・評価報告書・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	《学校教育》	
	(1) 教育を推進するための条件整備	
	(2) 教育環境の整備	
	(3) 地域とともにある学校づくり	
	(4) 教育の質を高められる環境づくり	
	(5) 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり	
	(6) 高等学校教育の振興	
	(7) 学校給食の充実	
	《社会教育》	
	(1) 幼児・青少年教育	
	(2) 成人教育	
	(3) 家庭教育	
	(4) 健康づくり、スポーツ活動	
	(5) 文化活動	
	(6) 読書活動	
4	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
	平成5年度 羽幌町教育行政執行方針	

1 はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会において、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

このことを受け、羽幌町教育委員会としては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、毎年度、教育委員会の点検・評価を行うことといたしました。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等のほかに、「令和5年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な事業の実施状況について点検・評価の対象としました。

(3) 点検・評価の流れ

「点検・評価報告書」については、「令和5年度教育行政執行方針」に掲げられた主要な事業の内容、事業成果、自己評価等を所管課が行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や施策の実施状況について点検・評価の客観性を確保するとともに、今後の取り組みに向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見・助言をいただきました。

【点検及び評価に関する意見・助言をいただいた方】

学識経験者 氏名：石 川 宏 役職等：元教育長

【意見・助言】

コロナ感染症による各種事業への影響も少なくなり、普段の教育文化活動が実施できる状況となったことは喜ばしいことであります。

教育活動では日頃から指導者の研修・研究等を実施していることは評価いたします。更なる児童生徒の学力向上のため、教職員の指導しやすい環境づくりを進められたい。

各学校施設において修繕や補修を実施しているが、なお老朽化する施設も多いことから、児童生徒の安心安全な教育環境の提供に努めていただきたい。

重要課題である児童生徒のいじめの防止、不登校にはきめ細かな対応が必要であり、教育委員会、学校及び関係機関との情報の共有・連携を一層密にし、事案に対して素早く対応できるよう状況の把握に努めるなど常に緊張感をもっていただきたい。

社会教育において児童生徒がスポーツや芸術などで研鑽することは、目的に向かっての集中力、相手を思いやる心、そして仲間づくりに重要であるとともに自己肯定感を醸成するものであることから、一層活動しやすい施設整備の促進や指導者に対する支援体制の充実を期待する。

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会議の開催及び審議状況

期 日	案 件 等
4月25日	〈議案〉 ・羽幌町いじめ問題専門委員会委員の選任について ・羽幌町社会教育委員兼羽幌町公民館運営審議会委員の委嘱について
6月12日	〈議案〉 ・羽幌町教育委員会決裁規程の一部改正について ・羽幌町社会教育委員兼羽幌町公民館運営審議会委員の委嘱について ・羽幌町教育委員会教育長の辞職の同意について
8月10日	〈議案〉 ・教科用図書採択について ・令和5年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
9月28日	〈議案〉 ・令和5年度羽幌町教育委員会事務点検・評価報告書について 〈報告〉 ・羽幌町教育委員会委員の任命について
12月7日	〈議案〉 ・令和6年度教育予算（臨時費）について ・令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について ・羽幌町立学校管理規則の一部改正について ・羽幌町立高等学校学則の一部改正について ・前川富義奨学基金条例の制定に係る意見聴取について ・羽幌町奨学基金条例の一部改正に係る意見聴取について 〈報告〉 ・令和6年度羽幌町立高等学校入学者選抜実施要項の策定について
2月19日	〈議案〉 ・令和6年度羽幌町教育行政執行方針について ・令和6年度羽幌町教育費予算に係る意見聴取について ・令和5年度羽幌町青少年文化賞スポーツ賞に係る受賞者の決定について

期 日	案 件 等
2月21日	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度羽幌町青少年文化賞スポーツ賞に係る受賞者の決定について
3月26日	<p>〈議案〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羽幌町立学校教職員の人事の内申について ・羽幌町教育委員会の所管に属する職員の人事について ・羽幌町教育委員会決裁規程の一部改正について ・羽幌町部活動指導員設置要綱の制定について ・羽幌町奨学資金奨学生の決定に係る意見聴取について ・令和6年度学校給食費の決定について ・羽幌町学校給食費負担軽減実施要綱の制定について ・羽幌町学校給食費に関する条例施行規則の一部改正について

(2) 教育委員会議以外の活動状況

期 日	内 容 等
4月 6日	羽幌町立羽幌小学校入学式
6日	羽幌町立羽幌中学校入学式
8日	北海道羽幌高等学校入学式
12日	度第1回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
12日	留萌管内市町村教育委員会教育長部会総会
12日	第1回第7採択地区教科用図書採択教育委員会協議会
13日	北海道町村教育委員会連合会第1回役員会
18日	いちい大学始業式
19日	留萌管内市町村教育委員会協議会役員会・総会・研修会
21日	羽幌町教育研究協議会総会
24日	第1回羽幌町立小・中学校校長会議
25日	第1回公立高等学校配置計画地域別検討協議会
27日	羽幌町スポーツ協会総会
5月 9日	第1回羽幌町社会教育委員会議並びに羽幌町公民館運営審議会
12日	羽幌町議会第3回臨時会
18日	北海道町村教育委員会連合会総会及び教育懇談会
20日	故駒井久晃前羽幌町長お別れの会
21日	第30回羽幌町子どもフェスティバル
22日	留萌管内小中学校生徒指導担当者連絡協議会総会
26日	北方領土復帰期成同盟総会
31日	部活動地域移行検討会議
6月 2日	オロロンライン全道マラソン大会実行委員会
3日	第77回羽幌中学校体育大会
4日	北留萌消防組合演習
5日	第1回羽幌町いじめ問題専門委員会
6日	第2回羽幌町立小・中学校校長会議
7日	留萌管内コンプライアンス確立会議
8日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導訪問（焼尻小中学校）
11日	羽幌小学校大運動会
15日	第2回第7採択地区教科用図書採択教育委員会協議会
21日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導計画訪問（羽幌小学校・羽幌中学校）
22日	第4回羽幌町議会定例会（23日まで）
28日	留萌教育局義務教育指導監学校経営指導計画訪問（天売小中学校）

7月 1日	羽幌町青少年問題協議会幹事会
3日	羽幌町青少年問題協議会
4日	羽幌町教育研究協議会学校公開研究会
6日	留萌教育局長学校訪問（焼尻小中学校）
7日	第3回羽幌町立小・中学校校長会議
13日	留萌教育局長学校訪問（羽幌小学校・羽幌中学校）
20日	第58回北海道市町村教育委員研修会（21日まで）
22日	高等学校総合体育大会総合開会式
24日	第2回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
24日	留萌管内教育研究所管理委員会
24日	留萌管内市町村教育委員会教育長部会臨時総会
25日	第5回羽幌町議会臨時会
26日	内灘町議会議員親善訪問団歓迎会
27日	第3回第7採択地区教科用図書採択教育委員会協議会
28日	第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会
28日	内灘町羽幌町姉妹都市文化体育交流事業（30日まで）
8月 10日	伊藤忠エネクス社面談
10日	おろちゃんマラソン実行委員会
17日	北海道教育委員会施設課長面談
18日	文教厚生常任委員会
24日	J A るもい組合長訪問
29日	給食センター視察
30日	留萌管内市町村教育委員会教育長・学校長会議
9月 2日	文化協会「歌と踊りの交流まつり」
3日	羽幌町防災訓練
4日	教育委員天売地区学校訪問
5日	北海道教職員組合要請訪問対応
6日	第4回羽幌町立小・中学校校長会議
11日	羽幌フェニックスミドル（中学軟式野球チーム）全道大会出場報告
12日	高等学校経営指導訪問
13日	令和5年第6回羽幌町議会定例会（15日まで）
19日	留萌管内公立小中学校教職員人事推進会議
21日	留萌教育局長学校訪問（天売高等学校）
22日	留萌教育局長学校訪問（天売小中学校）
30日	第77回羽幌中学校文化祭

10月 5日	羽幌高等学校国際交流事業結果報告
8日	第30回オロちゃんマラソン大会
12日	留萌管内学校における働き方改革推進会議
13日	第7回羽幌町議会臨時会
14日	羽幌小学校学芸会
14日	留萌高校創立100周年記念式典
18日	義務教育指導監学校経営指導訪問(羽幌中学校)
18日	寄付贈呈式(萌州建設)
20日	北海道町村教育委員会連合会教育長部会研修会
23日	留萌管内市町村教育委員研修会他
25日	高等学校教職員人事に係る第一次協議
26日	留萌管内市町村教育委員会教育長研修会他
29日	第34回MOA美術館留萌児童生徒展表彰式
30日	日本生命と羽幌町による包括連携協定式
11月 7日	オロちゃんマラソン大会実行委員会
9日	義務教育指導監学校経営指導訪問(天売小中学校)
10日	町政懇談会
14日	羽幌町議会文教厚生常任委員会
17日	義務教育指導監学校経営指導訪問(焼尻小中学校)
20日	第8回羽幌町議会臨時会
21日	第5回羽幌町立小・中学校校長会議
21日	留萌教育局当初教職員人事異動に係る人事協議
24日	寄付贈呈式(羽幌水稻部会)
27日	第2回羽幌町社会教育委員会並びに羽幌町公民館運営審議会
29日	北海道羽幌高等学校公開授業
30日	レバンガ北海道ロゴ入ボール贈呈式
12月 1日	北海道格闘クラブ羽幌道場全国大会出場表敬訪問
10日	留萌地方道民芸術祭(舞台部門)
14日	第9回羽幌町議会定例会(15日まで)
19日	第3回留萌管内市町村教育委員会教育長会議
19日	いちい大学「忘年の集い」
1月 7日	羽幌町二十歳の集い
7日	北留萌消防組合消防本部・消防署・羽幌消防署出初式
15日	羽幌町校長会教頭会合同研修会・ミドルリーダー研修会
19日	いちい大学「新年会」

28日	町民スキー場「びゅーまつり」
2月 1日	焼尻小学校4学年総合的な学習「焼尻の魅力調べ」学習発表会
9日	第6回羽幌町立小・中学校校長会議
15日	学校運営協議会導入に向けた研修会
15日	第1回羽幌町議会臨時会
15日	羽幌町議会文教厚生常任委員会
21日	第3回羽幌町社会教育委員会並びに羽幌町公民館運営審議会委員会
26日	学校給食センター運営委員会
3月 1日	第73回北海道羽幌高等学校卒業証書授与式
4日	羽幌町青少年文化賞スポーツ賞表彰伝達式
5日	いちい大学卒業式・修業式
12日	羽幌町議会第2回定例会（15日まで）
12日	羽幌町議会文教厚生常任委員会
16日	天売地区島民説明会（天売複合施設関連）
19日	羽幌小学校第132回卒業証書授与式
27日	第4回留萌管内市町村教育委員会教育長会議

3 点検・評価報告書

《学校教育》

(1) 教育を推進するための条件整備

事務事業名	事業内容及び点検
学校図書の整備及び活用の推進	令和3年度から4カ年計画として「学校図書館図書整備計画」を策定し、学校図書館図書標準（平成5年3月文部省策定）で定める図書標準冊数に達成するよう整備を行った。引き続き図書の適切な廃棄・更新を合わせ整備を行うことが必要である。
義務教材の整備	音楽教材をはじめ、各教材の整備・更新を行った。引き続き計画的に教材の整備及び更新を図る必要がある。
英語指導助手の配置	英語教育の指導方法向上と教育内容の充実を図るため、児童生徒が英語を理解し、英語を用いて表現できる基礎的な能力を養いコミュニケーション能力の醸成を目的として配置している。 新学習指導要領の実施（小学校は令和2年度、中学校は令和3年度）を踏まえて学習指導方法の改善や英語指導助手の更なる活用が見込まれる。
特別支援教育の支援	発達障害のある児童生徒や、多動性・軽度の情緒障害などがある児童生徒が集団の中で学習を進める中で、支援員を配置し教職員と子ども達に対し、きめ細かなサポート体制を構築する。 また、特別支援教育を基盤として、障害の有無にかかわらず児童生徒が互いの違いや個性を認め合う学校・学級づくりを目指している。
スクールバスの運行	学校へ通学する児童生徒を運送するためスクールバスを運行するとともに原野地区の定期便を共用することにより地域交通にも寄与している。今後も運送を必要とする児童生徒や地域住民が見込まれ、継続して運行する必要があるとともに効率的な運行スタイルを確立する必要がある。

<p>体力向上・総合学習の支援</p>	<p>全国体力・運動能力運動習慣等調査の結果から取組の成果や児童生徒の特徴を適格に捉え、教育活動の改善や体力・運動能力向上に努めた。</p> <p>また、総合学習の支援として郊外活動に必要な交通費の支出や発表の場の調整などの支援を行った。</p>
---------------------	---

(2) 教育環境の整備

事務事業名	事業内容及び点検
<p>各学校施設管理事業</p>	<p>町内各学校において、随時必要箇所の補修等を行い、安全で快適な施設の維持管理に努めている。</p> <p>主なものとしては、羽幌小学校体育館照明設備の改修工事のほか、天売小中学校体育館外壁修繕、焼尻小中学校グラウンド階段手摺修繕、羽幌中学校外壁等修繕、天売高等学校体育館屋根破風修繕などで、各施設の保全や長寿命化を図っている。</p> <p>複数の施設において老朽化が進むなど、修繕等の必要な箇所が多いため、引き続き計画的な整備を行い、安心安全な教育環境の提供に努める。</p>
<p>教職員住宅管理事業</p>	<p>天売地区・焼尻地区において、教職員住宅1棟2戸の浴室及び便所の改修を行い、当該施設の長寿命化を図った。</p> <p>老朽化が進んでいる住宅の整備であるが、雨漏り等の不具合を未然に防ぐものであり、居住する教職員の生活環境の改善を図ることができ、その効果は大きい。引き続き他の教職員住宅においても、計画的な整備を実施し、教育環境の充実に努める。</p>
<p>スクールバス運行事業</p>	<p>児童生徒の通学手段の確保のほか、校外学習活動や社会教育事業等を行う際の送迎用として活用するなど、円滑な学校運営と地域の様々な活動において、重要な役割を担っている。</p> <p>今後も引き続き、他の車両を含めた保有車両全体の状況等を随時点検し、必要な場合においては、修繕や更新するなど、計画的な管理を行っていく。</p>
<p>焼尻小中学校施設整備事業</p>	<p>焼尻小中学校の移設予定地整備のため、旧焼尻高校解体工事を実施した。</p> <p>令和4年度実施の耐力度調査結果から、現校舎の耐震化は困難であり建替えが必要であることが判明したことから、速やかに校舎の建替事業を進めていくものとしている。</p>

(3) 地域とともにある学校づくり

事務事業名	事業内容及び点検
コミュニティ・スクールの設置	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 47 条の 6 に基づき、羽幌小学校・羽幌中学校の 2 校で一つ、天売小中学校及び焼尻小中学校に学校運営協議会を設置。協議会は一定の権限を持って学校運営に参画することで、地域の子どもの教育に対する課題や目標を学校運営に反映させ「地域と共にある学校」を構築していく。</p>

(4) 教育の質を高められる環境づくり

事務事業名	事業内容及び点検
教職員への支援	<p>教職員の指導力向上については、校内外研修・研究を計画的に実行し公開研究を行うなどして意見を求め、改善を図るよう指導・助言を行っている。</p> <p>留萌教育局の義務教育指導監及び指導主事による学校訪問や教育委員会職員の派遣により、各学校の実態に応じ指導・助言を行っている。</p>

(5) 心身ともに健全な人間性と社会性を育む環境づくり

事務事業名	事業内容及び点検
児童生徒の問題行動等	<p>羽幌町いじめ防止基本方針を策定し、いじめの防止等に係る対策が児童生徒の生命及び心身を保護するために重要であることを認識し、関係者相互による連携の下、町全体でいじめ問題の克服を目指すこととしている。このため、いじめ等の問題行動に適切に対応する指導体制を継続するとともに、児童生徒が自分をコントロールできる力を育むよう指導・助言に努めた。</p> <p>また、各学校が「児童生徒の問題行動等への取組年間実施計画書」に基づき、いじめの未然防止や不登校への早期対応が適切に行われるよう取り組むとともに、各問題に対する相談体制を整え、関係機関との情報共有・連携を図り学校や家庭への支援を行っている。</p>

(6) 高等学校教育の振興と幼児教育の推進

事務事業名	事業内容及び点検
天売高等学校生徒募集事業	学校・地域・行政が一体となった生徒募集活動の結果、令和5年度入学生として島外から5名の生徒を受け入れた。引き続き各機関との連携により生徒確保に努めているほか、住居や就労先の確保についても、地域の理解及び協力のもと取り組んでいる現状にある（参考：令和6年度入学生7人）。
羽幌高等学校教育振興会補助事業	羽幌高等学校教育振興会補助事業「魅力ある学校づくり事業」にて、羽幌高等学校生徒に対し資格取得、部活動、学力向上、進路対策への補助を実施したことにより生徒の学習意欲向上及び進路実現への意欲向上、各種部活動の充実が図られた。 また、「生徒支援事業」として、入学準備や通学定期購入に係る支援を行っており、生徒や保護者の負担軽減に努めている。
天売高等学校学生寮運営事業	天売島外の進学希望者を一定程度受け入れるものとして、平成30年度から寮の運営を開始。天売島出身者を管理人とし施設の運営管理を委託するなど、学校・地域と連携した適切な寮の運営管理に努めている。今後も引き続き各関係機関との連携により当校に進学しやすい環境整備及び寮の運営に努める。

(7) 学校給食の充実

事務事業名	事業内容及び点検
施設及び設備整備事業	心身の発育における児童生徒へバランスのとれた食事の提供はもちろんのこと、給食センター施設設備の老朽化に伴い更新を行わなければならない所が数か所見受けられる。児童生徒はもちろんのこと調理員などにも安心安全な環境を整えなければならない。 また、令和4年度から学校給食費の公会計化を実施し、学校給食費について透明性の向上・公平性の確保、教職員の負担軽減、給食の安定的な実施等に努めている。

《社会教育》

(1) 幼児・青少年教育

事務事業名	事業内容及び点検
子ども自然教室	<p>多様な体験活動を通じて、わが町の自然や歴史について学び、観察し、体感し、親しむことによって豊かな情操や人間性を養い、郷土を愛する心を育むことを目的として開催している。</p> <p>本年度は年 10 回開催、延べ 164 名が参加した。</p>
ほっとクラブ	<p>放課後子ども教室として小学校低学年を対象に年数回（4～5回）教室を開催している。また、夏休み期間はキャンプ事業を実施している。本事業は放課後児童クラブ（こぐま児童会）と連携し、児童の生育環境の充実を図っている。</p> <p>本年度は年 2 回開催、延べ 55 名が参加した。</p>
優良青少年顕彰	<p>青少年の善行に対する顕彰制度。令和 5 年度は受賞者なし。</p>
芸術鑑賞事業 (小中高生)	<p>児童生徒を対象に学校及び社会教育が連携し、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで、歴史、伝統、文化に対する理解を深め、尊重する態度や文化芸術を愛好する心情を涵養し、次代を担う児童生徒の豊かな心を育むことを目的として開催した。</p> <p>＜中高生向け芸術鑑賞＞ 令和 5 年 7 月 12 日 中央公民館大ホール 「いちご同盟（演劇）」 鑑賞者数 392 名</p> <p>＜小学生向け芸術鑑賞＞ 令和 5 年 8 月 29 日 羽幌小学校体育館 「クランフィールドズ コンサート（音楽）」 鑑賞者数 240 名</p>
青色防犯パトロール・子ども 110 番の家	<p>青色回転灯による防犯パトロールを実施した。また、通学路を中心に町内事業所の協力を得て、不審者など緊急時に避難できるよう「子ども 110 番の家」を設置し、子供たちの安心安全な登下校が図られるよう努めた。</p>
羽幌町文化体育交流事業実行委員会補助事業（姉妹都市青少年交流事業）	<p>姉妹都市（石川県内灘町）との親睦を深めるため、両町の青少年が交流することで互いの絆を深め、姉妹都市としての意義を後世に引き継ぐことを目的として実施する。令和 5 年度は羽幌小学校児童 20 名が内灘町を訪問し、内灘町の小学生とブルーベリー狩りや凧づくりを実施するなど交流を行なった。</p>

(2) 成人教育

事務事業名	事業内容及び点検
成人講座	<p>※申込者が最少催行人数に達しなかったため中止とした。</p> <p>生きがいのある生活を送るため、学習や体験を通じて知識や技術を習得するなど、多様な学習機会の提供を目的とする。地域人材の活用や専門講師の協力を得るなど、工夫を凝らしながら取り組む。</p>
高齢者大学事業 (いちい大学)	<p>高齢者の学びの場として、「いちい大学」を開設。仲間づくりや趣味・教養、健康の維持・増進など、健康で豊かな日常生活を過ごすための多様な講座を開催し、高齢者の社会参加の促進と生涯学習の推進を図った。令和5年度の大学生は30名。</p>
二十歳の集い	<p>対象者に、大人になることの自覚を再認識してもらうとともに激励とお祝い場の場として実施。本年度は対象者56名が参加。</p>
高等学校講座事業	<p>※天売高等学校：新型コロナ対策のため中止とした。</p> <p>羽幌高等学校：年1回開催（6講座開設※うち2講座は参加者なし）</p> <p>高等教育機関の専門性や幅広い分野でのノウハウを生かした講座を開設し、多様な学習機会を提供することで、生涯学習の推進に寄与する。</p>

(3) 家庭教育

事務事業名	事業内容及び点検
羽幌町青少年問題協議会	<p>青少年の健全育成のため、青少年の指導、育成、保護及び矯正を図るため協議会を設置。指導実績はなし。</p>
羽幌町子ども会育成連絡協議会補助事業	<p>子どもフェスティバル、町内かるた大会の開催、北海道子どもかるた大会北留萌地区予選会並びに全道大会の参加に係る経費について支援し、青少年の健全育成に寄与した。</p>
羽幌町 PTA 連合会補助事業	<p>町内の各学校 P T A の連携を図り、社会教育・ P T A 研究大会の開催や管内 P T A 研究大会等の出席に係る経費について支援することにより、家庭・学校・地域の教育力向上に寄与する。</p>

(4) 健康づくり、スポーツ活動

事務事業名	事業内容及び点検
スポーツ教室	<p>少年少女水泳教室 (前期) 令和5年7月11日～13日 (後期) 令和5年7月18日～20日</p> <p>幼児水泳教室 令和5年8月5日～6日</p> <p>歩くスキー教室 令和6年1月21日・28日</p> <p>ラジオ体操会 令和5年7月25日～8月7日(14日間)</p> <p>各教室のニーズに合った運動の動機づけとなり、体力向上に寄与した。</p>
学校プール開放	<p>羽幌小学校プールの一般開放業務を行う。</p> <p>利用人数(6月13日～9月10日) 合計1,444名</p>
マラソン大会事業	<p>マラソン大会実行委員会主催により実施。</p> <p>参加人数 おろちゃんマラソン大会 245名</p>
町民スキー場 びゅーまつり	<p>スキー場の利用拡大のイベントとして実施。</p> <p>令和6年1月28日 来場者約500名</p> <p>当日はリフト無料、豚汁配布等を行った。</p> <p>町民スキー場やウインタースポーツに関心を持ってもらうことを目的とした事業であり、スキー場の利用拡大のイベントとして寄与した。</p> <p>※HABORO びゅーCUP(スノーボード大会)との同時開催</p>

(5) 文化活動

事務事業名	事業内容及び点検
文化事業実行委員会補助事業	<p>※新型コロナ対策のため収束するまで事業開催しない意向であったため、補助金交付なし。</p> <p>町民の芸術・文化に対する関心と日常の活動意欲を高め、文化振興に寄与することを目的とする。</p>
のびのび子育て公演	<p>未就学児を対象に令和5年度は「鈴木翼の子どもと笑いあえるあそびうたいっばい!コンサート」として、オリジナルのあそび歌・手あそび・体操あそびなど多様な演目による公演を実施し、子どもたちの情操教育を図ることに寄与した。</p> <p>鑑賞者数は約140名。(幼児:約104名、一般:約36名)</p>

天売焼尻芸術劇場	「辻村達夫&BOOF OOWOOフォークコンサート」 令和5年6月6日 天売公演、6月7日 焼尻公演 島民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供するため、各島において開催した。会場からは手拍子や掛け声があり、また演者は来場者のリクエストに応じるコーナーや子供向けの童謡を組み入れるなど盛り上がった。優れた舞台音楽を鑑賞することにより、島民の文化芸術に対する関心を高め、文化芸術活動の促進を図るとともに、明日への活力を養うことに寄与した。
町民芸術祭実行委員会補助事業	公民館を拠点として活動している文化サークル団体等の日頃の活動成果を発表する場であり、開催にあたってはこれらの団体で構成する実行委員会による運営が行われており、参加団体間の連携協力や相互理解を深める場にもなっている。芸術祭では舞踊や郷土芸能、写真や絵画など様々な発表・展示を行い、文化芸術活動の推進に寄与した。展示部門 692 作品、舞台部門 9 団体参加。
芸術鑑賞バスツアー事業	※申込者が最少催行人数に達しなかったため中止とした。 北海道立近代美術館など著名な作品展を鑑賞することで、町民への優れた芸術文化の鑑賞機会の提供を目的とする。

(6) 読書活動

事務事業名	事業内容及び点検
ブックスタート事業	町内の乳幼児9ヶ月検診時に、絵本とバッグ、アドバイスブックレット等をプレゼントし、絵本の読み聞かせによる子育て支援を行った。 対象児 21 名
おはなし会補助事業	あざらしおはなし会の活動補助。毎月定期的な公民館図書室でのおはなし会の開催や町内の施設等での出前おはなし会の開催、図書室の読書活動推進事業への協力により読書活動推進に寄与している。
学校図書館ブックフェスティバル事業	羽幌小学校で開催。道立図書館の支援事業を活用し、学校との連携により児童への読書活動の活性化を進めた。 ブックフェスティバルでの総貸出冊数 103 冊 ※令和5年度はミニミニブックフェスティバルとして開催
セカンドブック事業	小学校新1年生にセカンドブックをプレゼントすることにより、子どもの自発的な読書活動を支援し、図書室の利用促進を進めた。対象児童 28 名へプレゼント実施

<p>学校図書館連携事業</p>	<p>蔵書管理支援、学級文庫や事業貸出を行い、学校図書館の環境整備および児童生徒の利用促進、読書活動を支援した。</p>
<p>読書感想文コンクール</p>	<p>町内小中学校の協力のもと夏休みの課題として取組み、入賞者を表彰。応募相当と判断されたものについては全道コンクールへ出品している。読書の感動を文章で表現し、作品の発表を行うなど子どもたちの貴重な体験の場となった。 応募総数19名</p>

4 参考資料

令和5年度 羽幌町教育行政執行方針

■ はじめに

令和5年度の羽幌町教育行政執行方針を申し上げるに当たり、日頃より多くの皆様に、本町の様々な教育活動に対しご理解とご協力をいただいておりますことに改めて感謝を申し上げます。

人は、生涯を通じて様々なことに興味を持ち、学習し、楽しみ、能力や技術を高め、仲間を作るなど、これらを繰り返しつつ、必要な生活習慣や社会モラルを身に付けながら成長し、充実した生活を送っていきます。それには、社会での最小単位である家庭での教育からはじまり、人格形成や思考力の土台となる幼児期の教育、人として必要な資質や能力を身に付ける学校教育など、それぞれの発達段階に適した教育と、その後の人生を豊かに送るための各種社会教育活動の実践は、非常に関連性の高いものがあり、このためにも教育の実践には、町長部局と連携し、町全体で、人や地域・素材を有効に活用しつつ取り組んでいく必要があります。

なかでも「社会教育」では、生涯学習社会と言われる時代を見据え、地域住民一人ひとりの持つ資質や能力を地域活動に生かす「人づくり」を進めるためにも人々の学習ニーズに即した幅広い学習の機会を設けるとともに、感受性豊かな子どもたちの未来を育むための体験活動等の充実に取り組んでまいります。

また、「学校教育」では、児童生徒に必要な基礎的・基本的な知識や技能を確実に修得させるとともに、一人ひとりの能力や適性等に応じた教育を行い、子供たちが創造力をふくらませ、自ら学び・自ら考え行動できる豊かな人間性とたくましい身体を育ていくように努めてまいります。更には、児童生徒が安心安全でかつ充実した環境で学習し、地域の皆さんにも有効活用いただけるよう、天売複合施設や焼尻小中学校をはじめ、学校関連施設や設備の整備に努めてまいります。

令和5年度におきましても、幼児期から高齢期までの各世代の皆さんが、学びを通じて喜びを感じ、笑顔あふれる町づくりに向け、各分野の施策に取り組んでまいります。

以下、主要施策及び主な取組内容等について申し上げます。

1 心豊かでたくましい児童生徒の育成

(1) 生き抜く力の育成

ア 確かな学力の育成

児童生徒の発達段階に応じて、学習意欲の向上等に努め、知識や技術を活用するための思考力・判断力・表現力等を育み、特別な教育的支援が必要とされる子ども達に対しては、幼少時からのきめ細やかな対応と指導体制の充実に努めます。

また、児童生徒が読書に親しみを持てるよう読書環境の充実等に努めるほか、一人一台端末の活用により、児童生徒の資質や能力が一層育成される教育活動の実践に努めてまいります。

更には、国際社会を主体的に生き抜くための外国人とのコミュニケーション能力の向上や他国の文化への理解の推進に努めてまいります。

【主な事業】

- 教師用指導書購入事業（継続）
- 教育支援事業（継続）
- 学校図書整備事業（継続）

イ 豊かな心の育成

家庭や地域における教育力の低下が指摘されている中で、自らを律し他者を思いやる人間性を養うため、自己肯定感や豊かな心を育む教育を継続いたします。

また、子ども達の問題行動の背景には、様々な要因が掲げられます。児童生徒による問題行動の解決に当たっては、学校・家庭・関係機関が連携し、子ども達の状況をよく見極め、一貫性を持って適切に対応し、いじめ対策についても、いじめは絶対に許されないことを指導しつつ、いじめ防止や早期発見・早期対応に努めてまいります。

更には、地域の豊かな自然環境や伝統文化等ふるさとへの誇りと愛着を育み、豊かな感性を備えるために、子どもたちが地域に親しみ、地域を知る学習を充実いたします。

【主な事業】

- スクールソーシャルワーカー派遣事業（継続）

ウ 健やかな体の育成

子ども達が運動やスポーツの楽しさなどを学び、生涯にわたって実践していけるよう、体育や保健に関する指導の充実や運動習慣の定着に向けて取り組んでまいります。

また、児童生徒が食に関する正しい知識等を身に付けることができるよう食育を推進するほか、地域の自然や産業等に理解を深め、地産地消を推進するため、学校給食において地場産物を活用いたします。

【主な事業】

- 義務教材購入事業（継続）
- 給食設備整備事業（継続）

(2) 質の高い教育の推進

ア 地域と連携した特色ある学校づくりの推進

学校と地域が目標やビジョンを共有し、一体となって子ども達を育むため、学校運営協議会の活動を推進いたします。

【主な事業】

- コミュニティ・スクール運営事業（継続）

イ 高等学校教育の充実

天売高等学校は、地域コミュニティ醸成のためには欠かせない学校として今後も地域と連携し、島外生徒の受入体制を強固なものとして、生徒募集活動に努めてまいります。

また、道立羽幌高等学校は、地域との協働により特色ある教育活動を実践しており、今後も生徒一人ひとりが進路実現を果たし、社会に必要な人材として成長を遂げている魅力ある教育活動に対し協働で取り組んでまいります。

【主な事業】

- 天売高等学校活性化事業（継続）
- 天売高等学校学生寮運営事業（継続）
- 羽幌高等学校教育振興会補助事業（継続）

(3) 教育環境の充実

ア 教育施設の充実

学校施設は、子どもたちが一日の大半を過ごす安全・安心な場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難施設としての役割を果たすことから、その安全性の確保と適切な維持管理に努めてまいります。

また、教職員住宅は、住環境の変化や教職員住宅の老朽化に伴い、維持困難な教職員住宅が増えておりますことから、民間賃貸住宅の活用も踏まえ適正な住宅の提供に努めてまいります。

【主な事業】

- 教員住宅施設管理事業（継続）
- 学校施設管理事業（継続）
- 天売複合施設建設事業（継続）
- 焼尻小中学校建設事業（新規）

イ 教職員の資質向上

学校の教育力充実には、教職員の資質向上が重要であり、教育課題への適切な対応を図るために研修の機会充実に努めてまいります。

また、教員が学習指導と児童生徒と向き合うことのできる環境づくりに努めてまいります。

2 町民の創意を生かした生涯にわたる学びの循環

(1) 次世代の担い手育成と自己実現の達成

ア 生涯学習の推進

心の豊かさや生きがいを求め、自らのライフスタイルにあった様々な学習機会が必要とされており、生涯にわたり学び、心豊かな教育環境づくりが重要であります。このため、様々な体験を通し生きる力を身につけ、町民一人ひとりが自ら地域社会の構成員としての自覚を持ち、「まちづくり」に参加している意識を高めるような事業を展開してまいります。

また、社会教育関連施設の多くは建設から長い年月が経過し、老朽化が進み維持・管理していくことが困難な状況となっておりますことから、今後、改築・改修等の整備に努めてまいります。

【主な事業】

- いちい大学、成人講座（継続）
- 羽幌高等学校教養講座、天売高等学校教養講座（継続）

イ 青少年の健全育成

遊びや社会体験活動への参加など、イベントや祭りを通しての子ども同士、または大人との交流環境づくりが必要とされており、現在、少年向けの事業として、子ども自然教室や子どもカルタ教室を行ない、地域の自然や風習を知る機会を提供しています。今後もこれらの事業を継続し、ふるさとを愛する心を育む活動を意識した取組を行ってまいります。

【主な事業】

- 子ども自然教室、ほっとクラブ（継続）
- のびのび子育て公演、小中高生芸術鑑賞事業（継続）
- 姉妹都市文化スポーツ交流事業（継続）
- 羽幌町青少年問題協議会（継続）
- 羽幌町子ども会育成連絡協議会及び小中学校PTA連合会補助事業（継続）

ウ スポーツ活動の充実

町民が心身ともに健康で充実した生活を楽しむために、生涯にわたりスポーツに接する機会を増やすとともに、受入体制の強化や環境整備の充実に努めてまいります。その中において、スポーツ施設は、昭和40年代に整備されたものが多く、老朽化に伴う維持管理や活動状況に応じた施設の有効活用など具体的な見直しが必要とされておりますことから、各施設の老朽改修や機能向上はもとより、安全かつ快適にスポーツを楽しめるような工夫を講じてまいります。

【主な事業】

- 各種スポーツ教室事業・学校プール開放事業（継続）
- マラソン大会実行委員会補助事業（継続）

エ 芸術・文化活動の推進

文化団体や各種サークルによる創作・発表活動、舞台芸術や絵画などの鑑賞機会

の充実等により文化に対する関心を深めており、引き続き、後世に素晴らしい技術等を継承してまいります。

また、本町には2つの郷土資料館があり、貴重な歴史を紹介しておりますことから、今後も財産の保存と伝承に努めてまいります。

【主な事業】

- 離島地区芸術劇場（継続）
- 町民芸術祭実行委員会補助（継続）

オ 読書活動の推進

近年、高度情報化の進展や情報メディアの普及と発達により、読書環境が大きく変化しておりますが、本の良さがもたらす効果を楽しみながら、町民の皆様がより一層読書に親しめる環境づくりに努めてまいります。

また、生涯学習の場として公民館図書室の充実を図りながら、利用者のニーズに対応し身近で活用しやすい図書サービスを目指してまいります。

【主な事業】

- ブックスタート、セカンドブックプレゼント事業（継続）
- 学校ブックフェスティバル、児童・生徒読書感想文コンクール事業（継続）
- 図書室講座、巡回文庫（継続）
- 学校図書館連携事業（継続）

(2) 自然との共生

道指定文化財の「焼尻郷土館（旧小納家）」をはじめ、町指定文化財や天然記念物など、現在まで保存・継承されてきた貴重な財産を後世に確実に伝えてまいります。

以上、令和5年度の羽幌町教育行政執行方針を申し上げます。その執行にあたりましては、議員各位をはじめ、学校教育、社会教育、関係団体等と密接な連携を図りながら、教育の振興発展に努めてまいります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。